

# 2018 年度第三回日内連主催講演会

## 講演会テーマ：“2020 年燃料を考える－想定される問題とその対策”

－ 2020 年から発効する船舶用燃料の硫黄分 0.5%規制にどう対応するか －

開催日：2019 年 3 月 25 日（月）

場所：笹川記念会館 4 階 第 1・第 2 会議室

### 講演プログラム

講演題目(時間)	講演者(敬称略)
開会の辞(09:25～09:30)	日内連
<b>1.燃料によるトラブルと調査の事例 (09:30～11:30)</b>	
(1) 燃料トラブルの事例紹介～分析の視点から～ (9:30 ～ 10:15)	人見 朋子(日本海事検定協会)
(2) 最近の Bunker によるトラブルとその推定原因 (10:15 ～ 11:00)	山谷 周二(戸田総合法律事務所)
(3) 船用燃料油による船舶の機関トラブル (11:00 ～ 11:30) -これまでの経緯と 2020 年に向けて-	田中 健 (ベリタスペトロリウムサービス)
昼休み(コーヒー・ジュースを準備) (11:30～12:30)	
<b>2. 2020 燃料に想定される問題点 (12:30～13:00)</b>	高崎 講二(日内連、九州大学)
<b>3. 船級協会での燃料分析の立場から (13:00～13:50)</b>	
(1) 2020 燃料 今何が起きているのか、そしてその次は？	名雪 真未子 (ビューローベリタスジャパン)
<b>4. 潤滑油供給者の立場から (13:50 ～ 14:40)</b>	
(1) Marine Engine Lubricants: preparing for 2020 (2020 燃料対応の潤滑油)	大川 誠也(BP ジャパン)
休憩 (coffee break 14:40 ～15:05)	
<b>5. 燃料前処理・対応がより重要になるのか？－清浄機、燃料油添加剤メーカーとして (15:05 ～ 16:45)</b>	
(1) 燃料油清浄の重要性(15:05 ～15:55)	荒井 強(三菱化工機)
(2) 燃料油添加剤による対策と、船上簡易硫黄分析計のご紹介(15:55～16:45)	竹田 充志(日本油化)
閉会の辞 (16:45～16:50)	日内連

プログラム・演題は都合により予告無く変更されることがあります

### (お願い事項)

CD 内の講演資料から無断での流用をされないよう、お願いいたします。

## 講師の方々の現職

### 講演番号

- 1-(1) 人見 朋子 氏: 一般社団法人 日本海事検定協会 理化学分析センター  
ひとみ ともこ 有機チーム 課長補佐
- 1-(2) 山谷 周二 氏: 戸田総合法律事務所 海事補佐人  
やまたに しゅうじ
- 1-(3) 田中 健 氏: ベリタスペโตรリウムサービス セールスマネージャー  
たなか けん
- 2 高崎 講二 氏: 九州大学 名誉教授、日本内燃機関連合会 参与、他  
たかさき こうじ
- 3-(1) 名雪 真未子 氏: ビューローベリタスジャパン(株) 船級事業部門  
なゆき まみこ ソリューションサービス部 部長
- 4-(1) 大川 誠也 氏: BP ジャパン(株) グローバルマリン&エナジー テクニカルマネージャー  
おおかわ せいや
- 5-(1) 荒井 強 氏: 三菱化工機(株) 川崎製作所 船用機械技術部 SJ 設計課 課長  
あらい つよし
- 5-(2) 竹田 充志 氏: 日本油化工業(株) 横浜工場 技術研究所 所長代理、  
たけだ あつし 兼 開発技術課 課長、兼 企画チーム課 課長  
CIMAC WG7(FUELS)国内対応委員会主査